

「スチューデント・シティ」がスタート

ながら、現金の代わりにカードに記録する電子マネーを利用して、お金のやりとりを体験していきます。店舗経営者となった子どもたちは、開設資金の計算から、広告作成、接客、業績評価まで大人の世界に近い仕事をこなしていきます。教育委員会では、この体験活動を通して、「日常の生活が、人々がそれぞれの役割を分担し、お互いに支え合う共存・共生社会の中で成り立っていること、社会や経済の仕組み、税金などの意味などを学ぶ機会になれば」と期待をしています。

「総合的な学習の時間」の授業の一環として —「スチューデント・シティ」の活動内容—

「総合的な学習の時間」に、まず、8時間の事前学習を行い、「仕事をする意味」「銀行の役割」「税金について」「コスト・利益の関係」などという基本的なことから、「電子マネーの使い方」や「帳票の記入の仕方」などの実際的な内容、人に対する接し方や自分が受け持つ仕事の具体的な方法や手段、望ましい消費者としての心構えなどを学んでいきます。その後、土曜日の午前9時から午後3時まで（6時間）、学習の場を「スチューデント・シティ」に移し、事前学習をした内容を実際の



品川区教育委員会指導課
村尾 勝利 指導主事

経済活動体験を通して、試しながら学んでいきます。こうした学習の後、学校において、1時間の事後学習を行い、わかったことや疑問に思ったこと、自分の将来の生き方などについて話し合ってまとめ、計15時間のプログラムが終わります。

子どもたち自身が主体的に進めていくために —自分の将来像をもてるように—

アメリカで実績のある、子どもたちが実社会の経済の流れに関し、体験を通して学習するというプログラムを日本の学習指導要領等に基づき、小学5年生に合う教材として「ジュニア・アチーブメント」とともに内容の再編にかかわった、品川区教育委員会指導課の村尾勝利指導主事は、今後の抱負を熱く語ってくれました。

「今後は、もう少し、子どもたちの裁量に任せる部分をつくりたい。今は、決まっているプログラムに沿って子どもたちが動いているので、内容等を精査し、子どもたち自身が、話し合いの中でこんなことをやりたい、こんな仕事をしたいという、自分たちでビジネスを進めていくものを話し合いながら自分たちでつくっていけるようなシステムができないだろうか。そうすれば、もっと主体的に自分から仕事に進んでいけるのではないだろうか」と。

また、最後に、「スチューデント・シティ」で一生懸命働いている子どもたちに眼差しを向けながら、「自分の将来をイメージしたときに、この体験学習のことを活かして、自分の将来像をしっかりともてるようになってほしい」というメッセージを送ってくれました。



区役所で住民登録

アクセスポイント

▶ さまざまなボランティア活動を推進

東京ボランティア・市民活動センター（Tokyo Voluntary Action Center = TVAC）は、さまざまな分野のボランティア活動の推進・支援を目的として設立され、社会福祉法人東京都社会福祉協議会が運営しています。個人や団体を対象として、ボランティア・市民活動に関する情報提供、人材育成、調査研究など幅広い活動を展開しています。ホームペ

東京ボランティア・市民活動センター

ージには、都内の区市町村のボランティア・市民活動の相談窓口のホームページがリンクされているほか、都内で活動しているボランティアグループや団体も数多くリンクされています。また、「総合的な学習の時間」に対応するボランティア体験学習を教員・地域とともにすすめる児童・生徒のボランティア活動の推進プログラムにも取り組んでいます。

●所在地：東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10F

【ホームページ】<http://www.tvac.or.jp/> 【Eメール】center@tvac.or.jp 【電話】03-3235-1171